

状況報告（第 13 報）  
ご案内申し上げます。

記

1. 4 月 27 日午前の内閣官房長官記者会見において

【計画的避難区域】

ー 文科省の発表した年間の放射線の累積のデータで、福島県伊達市で 20 ミリシーベルトを超えていた。政府が計画的避難区域を設定するときは 20 ミリシーベルトが目安になっている。今後、伊達市を指定する考えはあるのか

「部分的に推測される年間の線量が 20 ミリを超える部分が何カ所かあるのは承知をしている。それと、スピーディー（放射線予測システム）などによる全体としての放射線量についての見通しなどを合わせて、全体的な広がりとして当該地域が 20 ミリシーベルトを超えるということにはならないという見通しのもとに、計画的避難区域についての対象地域の設定をしているところだ」

「もちろん、今後のモニタリングをさらに強化をして、しっかりと経緯をみていかなければならないというふうに思っているところだが、現時点で見直しをするということを具体的に検討しているということはない」

との発表がございました。

この内容は、4 月 27 日伊達鶏倶楽部第 12 報でご案内申しあげました内容についてのもので

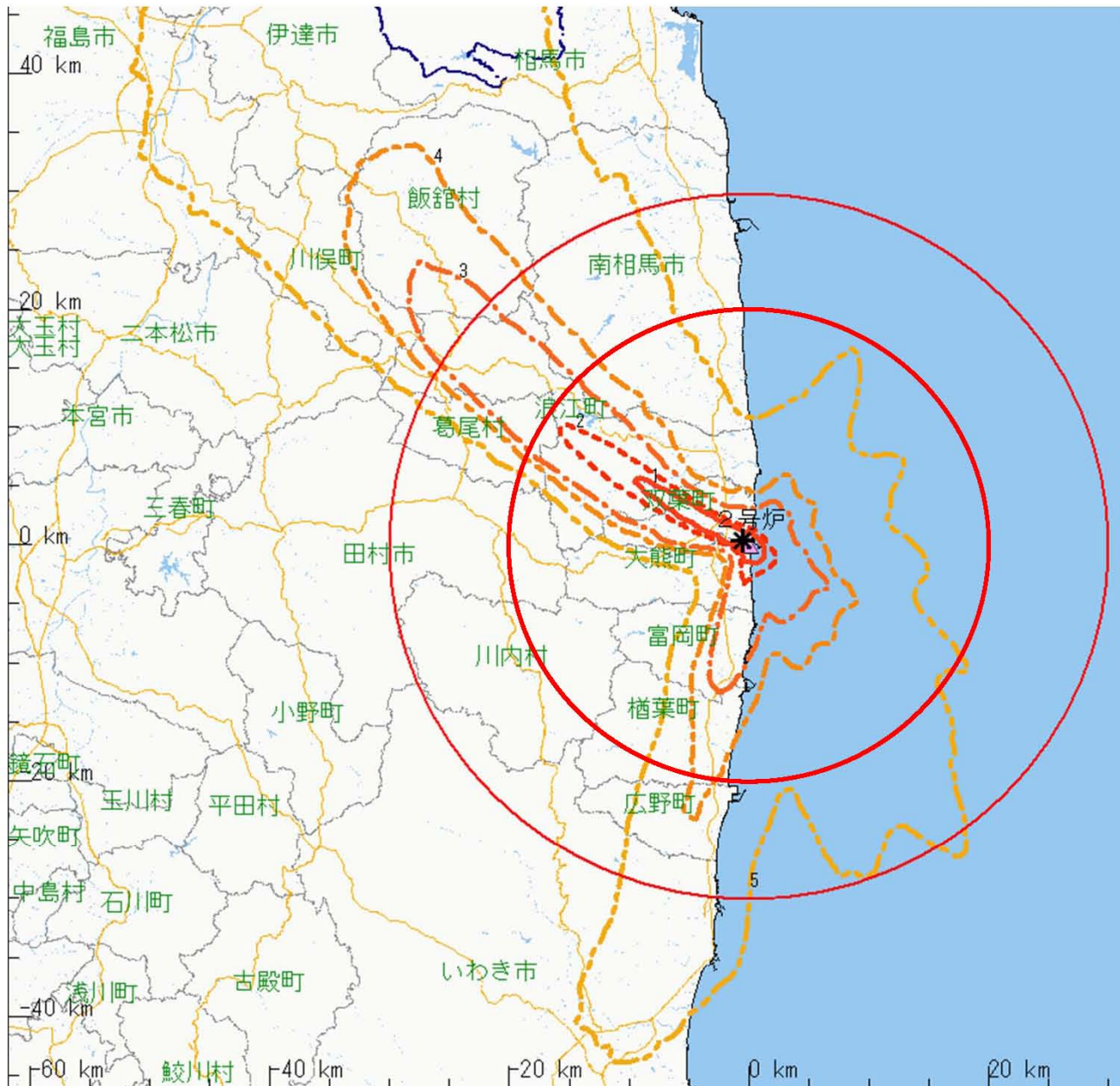
- 1) 平成 23 年 4 月 24 日迄の線量測定マップ、来年平成 24 年 3 月迄の積算線量推定マップが公表されました。
- 2) 原子力安全委員会より緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム SPEEDI が毎日公表されることになりました。

この 2 項目に関する添付資料は、第 12 報に付けておりますので、ご参照願います。

2. SPEEDI 発表

1. 本日は、3 月 12 日から 4 月 24 日迄の積算線量が発表されておりますので、添付致します。

以上



外部被ばくの積算線量  
 (3月12日6:00から4月24日0:00  
 までのSPEEDIによる試算値)

外部被ばくによる実効線量  
 日時 = 2011/03/12 06:00 -  
 2011/04/24 00:00 の積算値

領域 : 92km X 92km  
 核種名 = I-131, I-132, Cs-137, Cs-134  
 対象年齢 = 成人

【凡例】  
 実効線量等値線 (mSv)  
 1= 100 —————  
 2= 50 .....  
 3= 10 - - - - - ← 屋内退避レベル  
 4= 5 - · - · -  
 5= 1 - · · · · ·



**内部被ばく臓器  
等価線量の積算線量**  
(3月12日6:00から4月24日0:00  
までのSPEEDIによる試算値)

**内部被ばく臓器等価線量**  
 日時 = 2011/03/12 06:00 -  
 2011/04/24 00:00 の積算値

領域 : 92km X 92km  
 核種名 = ヨウ素合計  
 対象年齢 = 1歳児  
 臓器名 = 甲状腺

**【凡例】**  
 線量等値線 (mSv)

1= 10000	
2= 5000	
3= 1000	
4= 500	
5= 100	